

県AI活用の方向性(暫定版)

※本資料は現時点の検討案であり、事業実施には今後、予算確保や各種調整等が必要となるものもあります。

1. AI活用の目的

- ・AI活用によって、行政は業務効率化と県民サービス向上を図り、民間は生産性向上及び競争力強化、新たな価値創造を目指す

2. AI活用の基本方針

- ・様々な領域における課題解決への取組にAIを活用（広さと深さの両面での普及）
《広さ：利用者拡大、深さ：適用領域の深化（「個人」から「組織での業務効率化への利用」へ）》
- ・スマールスタートし、効果を確認できれば事業化
- ・小規模自治体や中小企業が多いことを踏まえ、モデル創出と横展開を推進
- ・人手不足や技術継承への対応
- ・多様な人材のAIリテラシー向上（現場が主体的にAI活用できるよう留意）
- ・生成AIによる偽情報の発生などリスクの明記と対応

県AI活用の方向性(暫定版)

3. 活用の可能性

①県行政での活用

○文章作成や要約などの内部事務への活用に加え、**業務改革、県民サービス向上への活用**を促進

- (業務改革の例) · インフラメンテナンスへの活用（道路パトロール映像のAI解析）
- (業務改革の例) · システム開発における仕様書作成支援
- (県民サービスの例) · 事例データベースを活用した相談業務支援

○技術継承・省人化に向け、ベテラン職員の知見をデータベース化し、職員の問合せにAIが回答する「**AIプラットフォーム**」の整備

②市町村への活用支援

○好事例の横展開、業務への適用支援、共同調達・利用の促進、共同研修の充実

- (例) · 県・市町村の共同利用システムのマニュアル作成や問合せ対応

③民間企業の活用支援

○情報共有、技術支援、伴走支援により、県内中小企業のAI活用を支援

- (例) · 県DX推進コンソーシアムの共同研究での先進的業務構築

(事例創出・共有、セミナー開催)

- AIを活用した生産現場の改善・生産性向上に取り組む企業への支援
- 支援機関による中小企業への研修強化

県AI活用の方向性(暫定版)

4. 推進体制

①県庁におけるAI統括責任者（CAIO）の設置

- ・AIの利活用の把握・推進、活用ルールとリスク管理、技術選定等を統括

②支援体制の強化

- ・ワンストップ相談窓口 「県DX支援センター」 にAIアドバイザー（仮称）を設置
- ・企業や団体向けの支援機関におけるリテラシー向上
- ・技術の新陳代謝を念頭に、最新情報を隨時収集・評価の上、市町村や民間企業へ情報提供

③各主体との連携促進

- ・県と市町村の連携強化
- ・県DX推進コンソーシアムの产学研官連携進化（大学研究室との連携）
- ・**県内情報産業とスタートアップ企業との連携促進（マッチング支援等）**

④AI人材育成・リテラシー向上

- ・行政向け研修の充実
- ・企業向け研修の充実